

# 令和4年度 大阪市立住吉中学校のあゆみ —結果概要とその分析から見えてきた成果・課題と今後の取組について—

大阪市教育委員会では、保護者や地域の皆様に説明責任を果たすことが重要であると考え、より一層教育に関心をお持ちいただき、教育活動にご協力いただくため、学校が各調査の結果や各調査結果から明らかになった現状等について公表するものとしています。

本校でも、各調査結果の分析を行い、これまでの成果や今後取り組むべき課題について明らかにし、本市教育委員会の方針に則り公表いたします。

なお、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部分であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。

## 1 「全国学力・学習状況調査」の調査の目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

## 1 全国学力・学習状況調査

学年 実施月日		生徒数 (人)	平均正答率(%)			平均無解答率(%)		
			国語	数学	理科	国語	数学	理科
3 年	学校	94	67	51	48	5.5	12.4	5.3
	大阪市	—	66	50	46	5.5	12.2	4.4
4月19日	全国	—	69.0	51.4	49.3	4.3	10.8	3.4

## 令和4年度 大阪市立住吉中学校のあゆみ —結果概要とその分析から見えてきた成果・課題と今後の取組について—

### 調査結果から

#### 【成果と課題】

○全国学力・学習状況調査結果

＜国語＞ 全国と比較して、正答率が上回るものはなかったが、マイナス1割～2割で推移しているが、「(2)情報の扱い方に関する事項」と「書くこと」領域においてマイナス8.3割となっており、苦手分野が浮き彫りとなった。

＜数学＞ 全国と比較して、「図形」領域において、プラス3.2割となっており、他はマイナス0.6割～2.8割であった。

＜理科＞ 全国と比較して、「粒子」と「地球」を柱とする領域で正答率を上回った。「生命」を柱とする領域ではマイナス5.6割となった。

全教科ともに、無回答率の多さが大阪市、全国を上回るという結果であった。

#### 【今後に向けて】

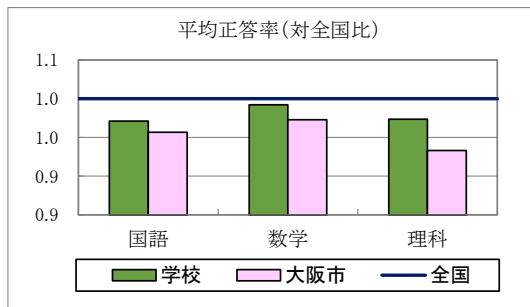
授業規律を確保しつつ、生徒の学力向上に向けた授業改善に向けた取組として、生徒が主体的に「学びに向かう」授業展開を実践しながら、基礎・基本となる学習の定着を進めていく。また、学習用タブレット等のICT機器を活用しての授業展開の充実を行い、更なる学力向上を進めていく。

令和4年度 大阪市立住吉中学校のあゆみ  
—結果概要とその分析から見てきた成果・課題と今後の取組について—

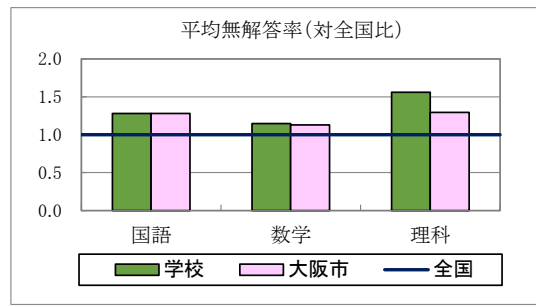
全国学力・学習状況調査 教科に関する調査より

【 全 体 】

	平均正答率(%)		
	国語	数学	理科
学校	67	51	48
大阪市	66	50	46
全国	69.0	51.4	49.3

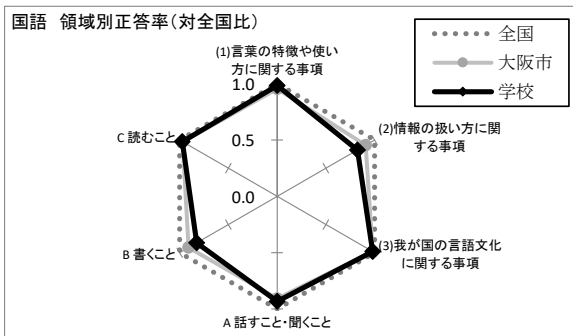
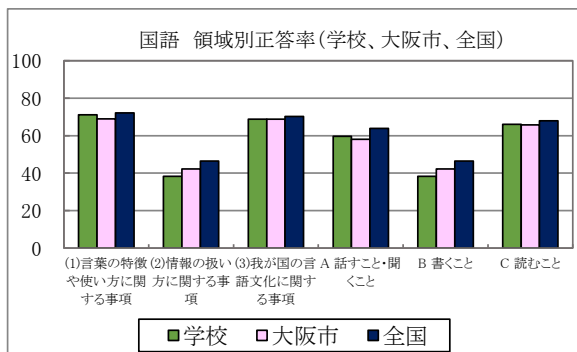


	平均無解答率(%)		
	国語	数学	理科
学校	5.5	12.4	5.3
大阪市	5.5	12.2	4.4
全国	4.3	10.8	3.4



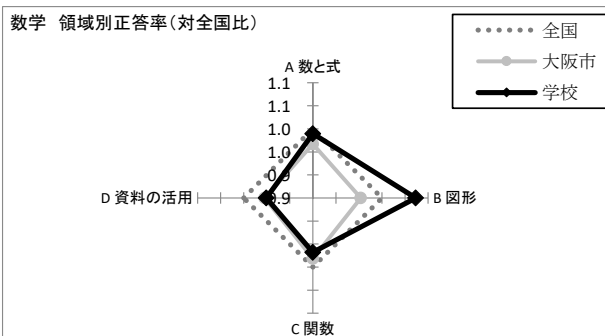
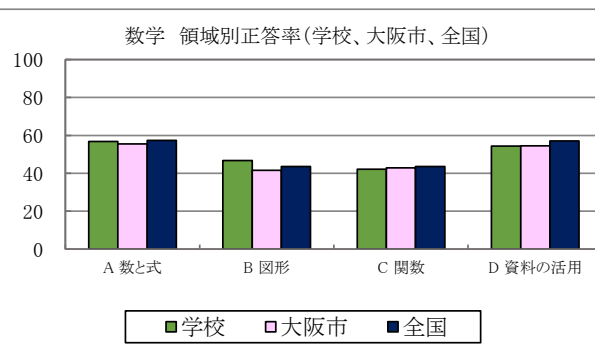
【 国 語 】

学習指導要領の内容	対象 設問数 (問)	平均正答率(%)		
		学校	大阪市	全国
(1)言葉の特徴や使い 方に関する事項	6	71.1	69.0	72.2
(2)情報の扱い方に 関する事項	1	38.3	42.2	46.5
(3)我が国の言語文化 に関する事項	3	68.8	68.8	70.2
A 話すこと・聞くこと	3	59.6	58.0	63.9
B 書くこと	1	38.3	42.2	46.5
C 読むこと	2	66.0	65.8	67.9



【 数 学 】

学習指導要領の 領域	対象 設問数 (問)	平均正答率(%)		
		学校	大阪市	全国
A 数と式	5	56.8	55.5	57.4
B 図形	3	46.8	41.6	43.6
C 関数	3	42.2	42.8	43.6
D データの活用	3	54.3	54.5	57.1



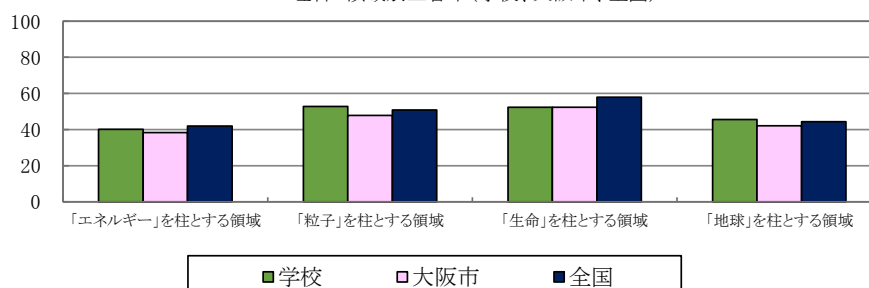
令和4年度 大阪市立住吉中学校のあゆみ  
—結果概要とその分析から見てきた成果・課題と今後の取組について—

全国学力・学習状況調査 教科に関する調査より

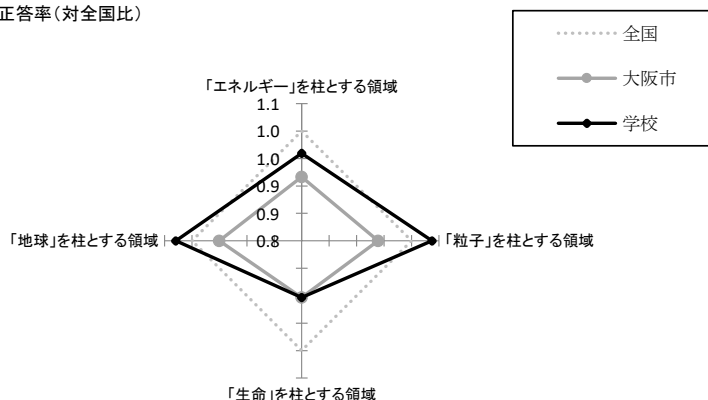
【理 科】

学習指導要領の 領域	対象 設問数 (問)	平均正答率(%)		
		学校	大阪市	全国
「エネルギー」を 柱とする領域	6	40.2	38.4	41.9
「粒子」を柱とする 領域	5	52.8	47.8	50.9
「生命」を柱とする 領域	5	52.3	52.3	57.9
「地球」を柱とする 領域	6	45.6	42.1	44.3

理科 領域別正答率(学校、大阪市、全国)



理科 領域別正答率(対全国比)



# 令和4年度 大阪市立住吉中学校のあゆみ —結果概要とその分析から見てきた成果・課題と今後の取組について—

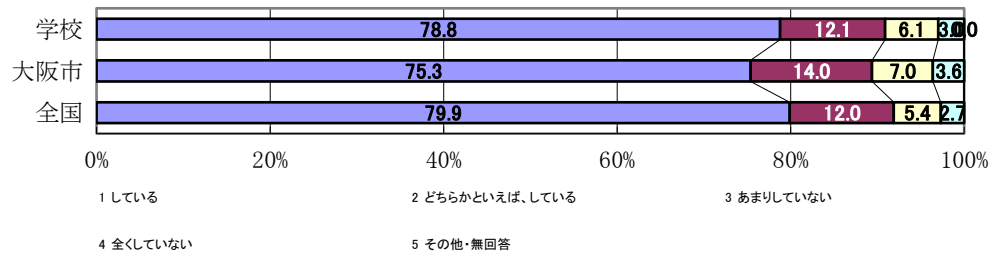
## 生徒質問紙より

1 2 3 4 5 6 7 8

質問番号  
質問事項

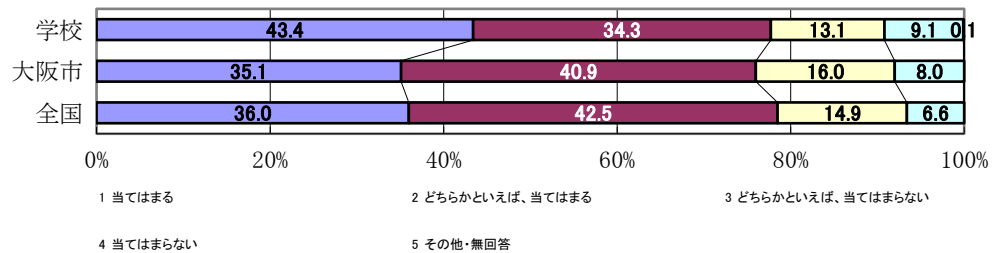
1

朝食を毎日食べていますか



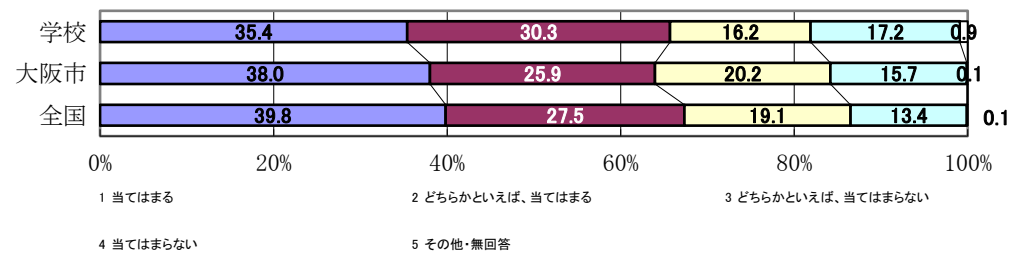
7

自分には、よいところがあると思いますか



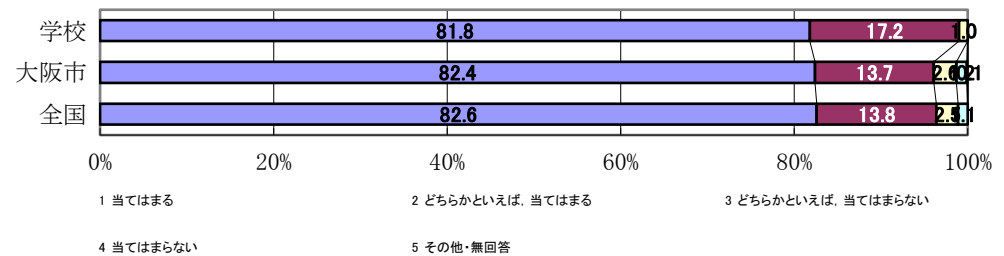
9

将来の夢や目標を持っていますか



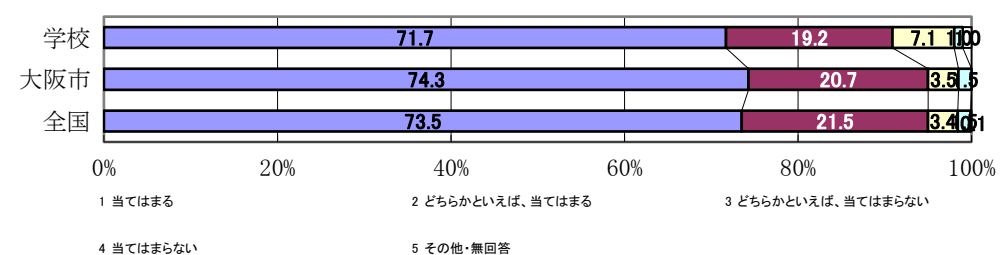
13

いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか



15

人の役に立つ人間になりたいと思いますか



# 令和4年度 大阪市立住吉中学校のあゆみ —結果概要とその分析から見てきた成果・課題と今後の取組について—

## 学校質問紙より

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10

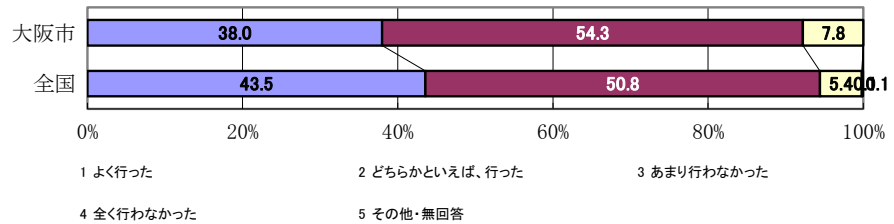
質問番号

質問事項

9

調査対象学年の生徒に対して、前年度までに、学級全員で取り組んだり挑戦したりする課題やテーマを与えましたか

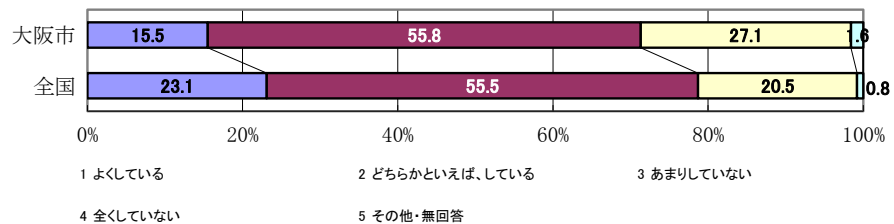
学校 「どちらかといえば、行った」を選択



20

生徒自ら学級やグループで課題を設定し、その解決に向けて話し合い、まとめ、表現するなどの学習活動を学ぶ校内研修を行っていますか

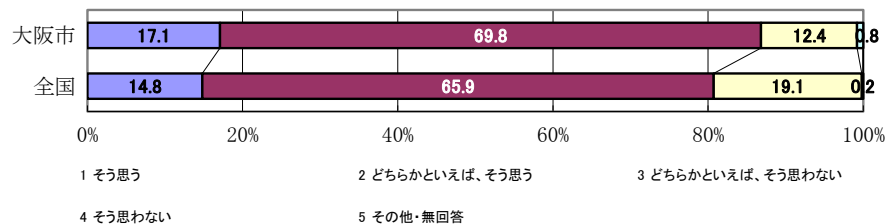
学校 「どちらかといえば、している」を選択



24

調査対象学年の生徒は、授業において、自らの考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して、発言や発表を行うことができていると思いますか

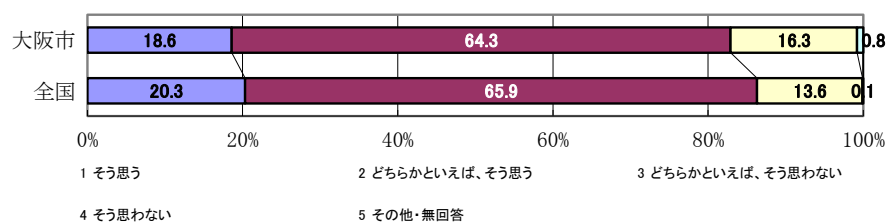
学校 「どちらかといえば、そう思う」を選択



26

調査対象学年の生徒は、学級やグループでの話し合いなどの活動で、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思いますか

学校 「どちらかといえば、そう思う」を選択



29

調査対象学年の生徒に対して、前年度までに、授業において、生徒自ら学級やグループで課題を設定し、その解決に向けて話し合い、まとめ、表現するなどの学習活動を取り入れましたか

学校 「どちらかといえば、行った」を選択

